



2022年5月9日

各位

会社名 テクマトリックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 由利 孝
(コード: 3762、東証プライム)
問合せ先 経営企画部長 山崎 基貴
(TEL. 03-4405-7802)

中期経営計画の業績計画見直しに関するお知らせ

当社は、2021年5月10日に発表した中期経営計画「BEYOND THE NEW NORMAL」の業績計画を下記の通り見直しいたします。

記

1. 業績計画の見直しの内容

連結会計年度	指標	情報基盤事業	アプリケーション・サービス事業	合計
2023年3月期計画 (旧計画)	売上収益	250億円	110億円	360億円
	営業利益	31億円	10億円	41億円
2023年3月期計画 (見直し計画)	売上収益	275億円	155億円	430億円
	営業利益	32.5億円	7.5億円	40億円
2024年3月期計画 (旧計画)	売上収益	280億円	120億円	400億円
	営業利益	36億円	14億円	50億円
2024年3月期計画 (見直し計画)	売上収益	290億円	170億円	460億円
	営業利益	36億円	15億円	51億円

2. 理由

2022年3月期に連結子会社化したPSP株式会社と、株式会社NOBORIの経営統合により、2022年4月1日に当社連結対象子会社として新生PSP株式会社が発足しました。これを受け、中期経営計画の2年目、3年目の業績計画の見直しを実施することとしました。

統合会社である新生PSP株式会社は、ストック型ビジネスへの転換を目的に、医用画像管理システム(PACS)のクラウドシフトを推進してまいります。クラウドシフトの推進は、短期的な売上・営業利益の減少要因となりますが、将来を見据えた経営判断として断行する予定です。

また中期経営計画2年目の2023年3月期の業績計画においては、運送費や廃棄費用、新オフィス造作時の二重家賃など、追加で本社移転費用としておよそ2億円を算入しております。

(注) 上記、計画値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の判断で作成したものであり、将来の業績を保証するものではありません。今後の様々な要因により実際の業績等は変動することがあります。ご了承ください。

以上

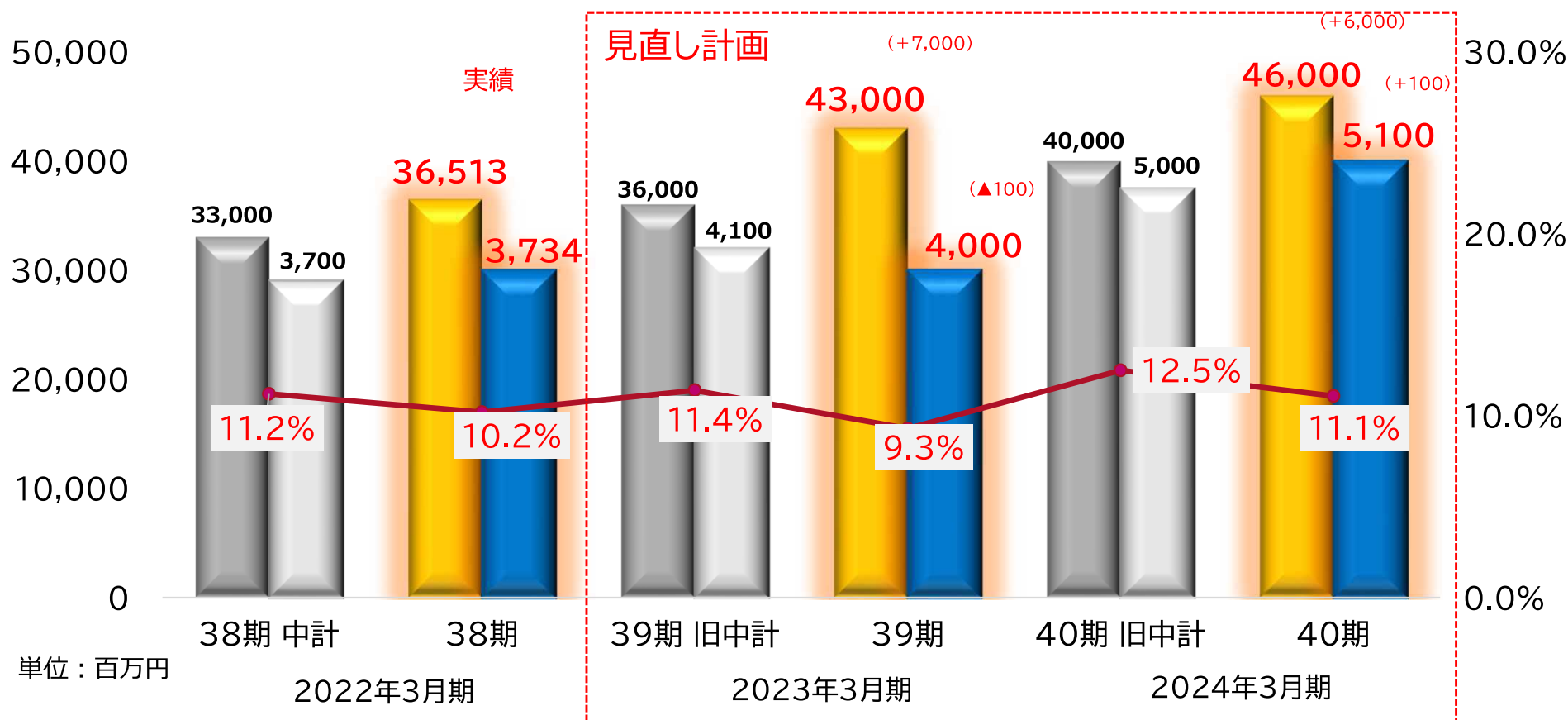


◆ 中期経営計画の業績計画の見直し理由

先期に連結子会社化したPSP株式会社と株式会社NOBORIの経営統合により、2022年4月1日に **当社連結対象子会社**として新生PSP株式会社が発足。それを受け、**中期経営計画の2年目、3年目の業績計画**の見直しを実施。

統合会社は**ストック型ビジネスへの転換**を目的に、医用画像管理システム（PACS）の**クラウドシフト**を推進する予定。クラウドシフトの推進は、**短期的な売上・営業利益の減少要因**となるが、**将来を見据えた経営判断**として断行を予定。また39期においては、**運送費や廃棄費用、新オフィス造作時の二重家賃**など、追加で**本社移転費用**およそ**2億円**を算入した。

■ 売上 ■ 営業利益 ● 営業利益率





サイバーセキュリティ対策製品・サービスに対する継続的な需要の高まりを考慮して計画を見直し。

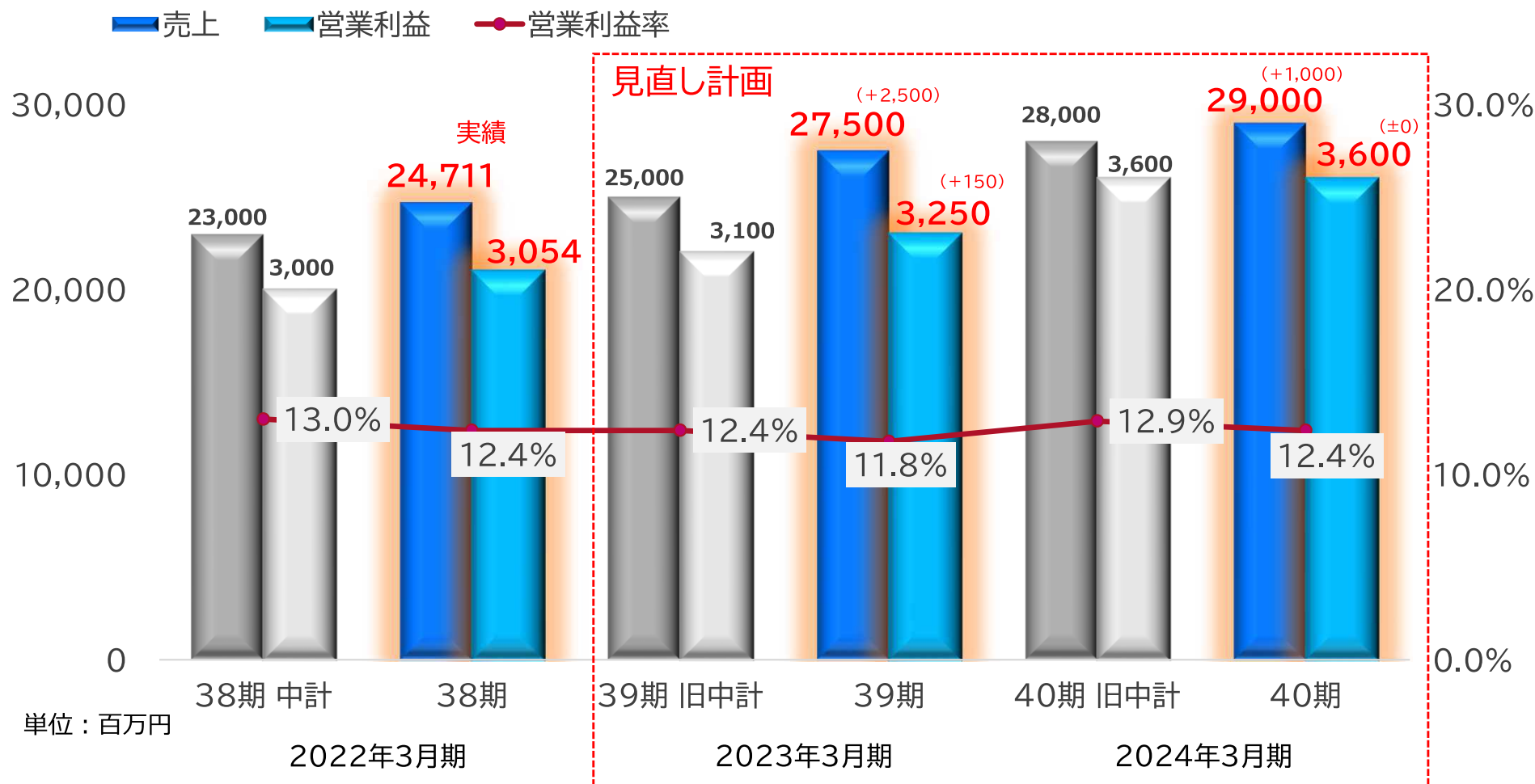
◆売上収益：

クラウド型のセキュリティ製品の需要トレンドを考慮した計画の見直し

◆営業利益：

統合監視サービスの（TPS）の需要トレンドを考慮した計画の見直し

※本社移転費用を吸収した上で、営業利益の計画値を上方修正。





連結業績予想（アプリケーションサービス事業）

本社移転費用と医用画像管理システム（PACS）のクラウドシフトの推進を考慮して計画を見直し。

◆売上収益：

PSP株式会社の連結による増加

◆営業利益：

本社移転費用の発生

教育事業に対する投資の継続

旧PSP株式会社の既存導入先施設に対するクラウドシフトの推進

■売上 ■営業利益 ●営業利益率

